
2008年度 第5回 音環境運営委員会 議事録

記録:田端

A. 日 時 2009年1月20日(火) 17時00分～19時00分

B. 場 所 建築学会会議室#301

C. 出席者 赤尾伸一、安藤 啓、岩瀬昭雄、井上勝夫、大鶴 徹、岸永伸二、坂本慎一、佐久間哲哉、
田端 淳、中澤真司、濱田幸雄、平松友孝、福地智子、吉村純一(敬称略)
欠席者 河井康人、古賀貴士、佐藤史明、安岡博人、吉久光一(敬称略)

D. 提出資料

No.5-0 2008年度 第4回音環境運営委員会議事録(案)(坂本)

E. 審議事項

1. 前回議事録確認(資料No.5-0)

- ・「2. 環境工学本委員会(2008.11.27)報告」中にある「パネルディスカッション 建築環境のシミュレーション技術と将来展望」は「研究懇談会 建築環境のシミュレーション技術と将来展望」である。
- ・上記以外は承認された。

2. 環境工学本委員会(2009.1.20)報告(大鶴主査)

- 奨励賞選考委員会委員推薦 音環境から濱田先生。
- 2009年度予算が決定した。
- 2008年度小委員会活動成果報告提出依頼 2月15日締切。主査へ提出する。前年度の自己評価をCとした場合、次年度には改善事項も記入する。
(<http://news-sv.aij.or.jp/academic/shosiki/jiko-hyouka.doc>)
※昨年の活動成果報告は下記HPに掲載されています。
<http://news-sv.aij.or.jp/academic/seika/07seika/index.htm>
- 2009年度国際交流振興基金援助事業申請 総額100万円。環境は光環境から申請あり。
- 委員会名称変更 「建築経済委員会」が「建築社会システム委員会」に。
- 2009年度大会関係 大会の日程変更に伴い、プロ編等の日程も変更された。
- 大会OSのスケジュール 2月27日までに概要を提出。3月10日を目処に採択通知。原稿締切は一般と同じ(電子投稿:4月12日)。
- 大会プログラム編成会議委員選任にあたって 旅費の節減に協力を願う。
- 大会の代理講演について 代理講演は認めない。講演発表の行われなかった梗概であっても著作物としての取り消しを行わない。上記原則は学術推進委員会の議事録に残す。著作物としての取り消しを行わないという文言は募集要領には記載しない。欠席した講演発表者の講演番号を学会ホームページにて公表する。
- 大会教育賞受賞者記念講演 分野ごとに実施する。
- 研究集会の定義 総合研究協議会、研究協議会、パネルディスカッション、研究懇談会、緊急報告会を定義し、区分の明確化を図った。
- 大会支部提案による研究集会 支部提案が採択されていないのではというのは誤解である。
- 大会研究集会企画案 環境工学は以下のスケジュール。PD:1日目午後、研究協議会:2日目午後、研究懇談会:3日目午後。
- 2009年度開始特別研究委員会テーマ選考結果 3件が採択された。環境工学からは「深刻化する地球環境問題への対策・適応のための建築・都市環境将来モデル」。
- 2009年度開始若手奨励特別研究委員会テーマ選考結果 3件が採択された。環境工学からは「汎用CAEオープンソースソフトウェアを核とした建築音響数値解析環境の整備」。
- 情報保障に関する体制整備 6回/年の委員会を想定し、10万円/年まで補助を行う。
- 2007～2008年度委員会活動報告会 環境工学は3月11日午前。会員に対して公開。井上委員長が報告。各運営委員会に要請があり、特色のある活動を行っている委員会は奮って応募してほしい(パワーポイント、形式は自由)。2月末までに大野さんへ。
- 研究助成(鹿島学術振興財団研究助成) 候補の推薦 5件。その内、環境は1件。
- 建築環境工学実験用教材改訂 今年度内の刊行が難しい。
- 2009年度大会研究協議会 「高齢社会の環境・設備 - ユニバーサル環境デザインに向けて-」で計画が進んでいる。音環境は佐藤洋先生(産総研)の予定であったが、大会日程変更に伴い、変更の可

能性がある。

- 2009 年度大会研究懇談会「建築環境のシミュレーション技術と将来展望」。音環境は大嶋先生（新潟大）の予定。
- 2009 年度大会 PD 「雨を楽しみつつ都市の水を制御する建築」で計画。
- 学会賞（論文部会）選考委員会委員 井川先生（留任）と池田耕一先生（新任）。
- 論文集委員会委員 音環境関連は佐藤史明先生（留任）。査読員の追加等があれば 3 月 10 日までに主査へ。
- 技術報告集委員会委員 今年度までは矢野博夫先生（今年度で退任）。2009 年度からの委員はメールで審議する。査読員の追加等があれば 3 月 10 日までに主査へ。
- 総合論文誌委員会委員 今年度までは川瀬先生（今年度で退任）。推薦する方があれば 3 月 10 日までに主査へ。
- 総合論文誌第 9 号の企画テーマ推薦 2 月 20 日締切。音環境からのテーマ応募は未だない。
- 大会 OS の追加「地球環境デザイン」地球環境はセッションのない分野のため環境設計で実施する。
- 環境工学委員会予算配分 従来通りの手続きにより 2009 年度予算が決定した。音環境は 70 万 2 千円。
- シンポジウム実施報告、実施計画 音環境は無し。
- 刊行企画・講習会企画の延期 「建物の遮音設計（床衝撃音）」データ確認・予測法による結果と実測データの対応性の検討等により発刊が 2～3 ヶ月延期となる。「アセトアルデヒド等 3 化学物質による室内空気汚染に関する設計・施工等規準・同解説」整合性をとるために延期する。
- 国際交流振興基金の申請 「ピーター・ボイス名誉教授招聘講演会及びワークショップ開催（光環境）」に招聘費 60 万円を申請。講演会諸経費は参加費から捻出する。
- 環境工学研究者名簿のデータ貸し出し 2 件申請があり了承された。
- 次期委員長選挙 「環境工学本委員会委員長選挙内規」が確認された。選挙は 3 月 16 日 16:30～。
- 予算の執行状況 音環境は 52%
- 小委員会の次年度の委員は原則公募とする。公募なしの場合には理由書が必要。公募原稿締切：1 月 29 日（3 月号掲載）、もしくは 2 月 25 日（4 月号掲載）。
- インターンシップについて 全建連で調整を図ろうとしているがなかなか進まない。久野先生の報告によれば、東海支部では支部として動く予定である。大学ごとに動くことと提出書類が大学ごとに異なるなど、企業に負担が掛かることになる。大学で歩調を合せ、地方でブロック毎に動くのがよいと考えられる。中央（首都圏）は企業、大学が多数あり動きが遅い。環境・設備系は空調衛生工学会が中心となって進めている。建築学会は同学会と連携をとって進めてほしい。

3. 小委員会活動報告

固体音小委員会（平松主査）

- 12 月 19 日、1 月 16 日に小委員会開催。3 月 19 日のシンポジウム向け「ボールによる評価方法（案）」を検討中。

集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（濱田主査）

- 12 月 22 日に小委員会開催。現行の赤本について「現状との乖離」、「改訂が望ましい箇所」について、具体的な改定案を持ち寄って検討を行った。
- 次回以降、生活実感との対応について検討する。

建築音響測定法小委員会（赤尾主査）

- 12 月 3 日に小委員会開催。11 月 9 日に実施した実騒音（鉄道騒音）を用いた短時間遮音測定について検討した。
- インピーダンス測定に関するまとめを行った。

室内音響小委員会（岸永主査）

- 12 月 15 日に小委員会を開催。3 月 27 日のシンポジウムについて詳細の検討を行った。シンポジウムの予算は委員会予算とは別枠となるため、講演者の旅費を全額負担することができない。
- 音声伝送品質設計・評価指針作成 WG ではアカスタの原稿（ドラフト）がほぼ完成した。次年度は企画刊行委員会傘下の小委員会へ移管する。2010 年度刊行予定である。
- スピーチプライバシー研究 WG 今年度予定していたシンポジウムは年度内開催が困難となったため、次年度 5～6 月に延期する。2009 年度は一度散会し、新たに再開する。
- 音響指標測定研究 WG カザルスホールでの合同測定の結果を再整理中である。次年度は主査が交替する予定である。

音響数値解析小委員会（佐久間主査）

- 12 月 24 日に小委員会開催。小林理研における実測データのと数値シミュレーションの一例をシンポ

ジウム（2月27日）で紹介する。

- 出版（2009年4月～）は目次、原稿フォーマット等の検討を開始した。
企画・広報WG（安藤主査）
- 次期の企画・広報WG、アカデミックスタンダードWGの委員構成について検討した。

4. 他学会の予定

建築音響研究会 2/27 建築会館（第63回音シンポジウム）、3/11 浜松、3/27 建築会館（第65回音シンポジウム）、4/24 東京（明治大駿河台）

騒音振動研究会 2/20 沖縄、3/6 東京（東大生研）

5. 次回の予定

- 次回は2009年3月16日(月)17:30～ 建築会館会議室

2008年度 音環境運営委員会予定		
第1回	2008.5.20(火)	実施
第2回	2008.7.25(金)	実施
第3回	2008.9.26(金)	実施
第4回	2008.11.27(木)	実施
第5回	2009.1.20(火)	実施
第6回	2009.3.16(月)	(決定)